

# 「コワーキングスペース間交流・連携が生み出す新たな製品・サービス創出事業」

一般財団法人長野経済研究所（長野県松本市・塩尻市）

コンソーシアム名	長野県中信地域ふるさとテレワーク推進コンソーシアム	
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	(一財)長野経済研究所, 長野県, 松本市, 塩尻市, 松本商工会議所, (一財)塩尻市振興公社, (株)ノークリサーチ, クラウドット(株), (株)コミクリ, ネットワンシステムズ(株)	
実施類型・人数	類型 A : 13人	類型 C : 45人
実施地域	長野県松本市、長野県塩尻市	
事業概要	隣接2市の中心駅周辺に都市部企業の社員等が利用可能なテレワークセンター兼コワーキングスペース及びテレワークセンター相互利用連携基盤を構築する。整備拠点とシステムを進出企業のテレワーカー等が相互利用することにより、地域産業との融合による新たな製品・サービスを創出し、都市部の仕事・人の誘引及び地域産業振興を促進する。	

## テレワークセンター・サービスの相互利用



# 「コワーキングスペース間交流・連携が生み出す新たな製品・サービス創出事業」

一般財団法人長野経済研究所（長野県松本市・塩尻市）

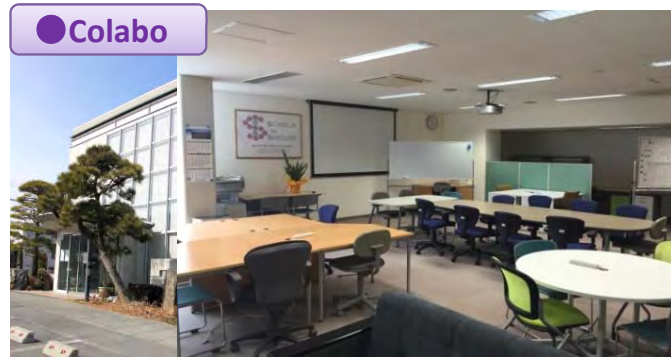
## ■整備した拠点の概要

名称	所在地	利用対象者	収容人数	整備拠点で可能な業務
Knower(s)	松本市大手1丁目	類型A、類型C	5人、5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築したテレワークセンター業務管理連携基盤により、当該拠点において、テレワーカーがシステム開発、Web構築、EC運用代行、経理業務等を行う。</li> <li>構築したテレワーク業務支援システムにより、テレワーカーがシステム開発、Web構築、経理業務等を行う</li> <li>構築したTV会議システムにより、テレワーカーがシステム開発、顧客サポート、商品企画業務等を行う。</li> </ul>
Colabo	塩尻市大門八番町	類型A、類型C	6人、5人	
テレワークセンターしおじり	塩尻市大門一番町	類型A、類型C	2人、35人	

●Knower(s)



●Colabo



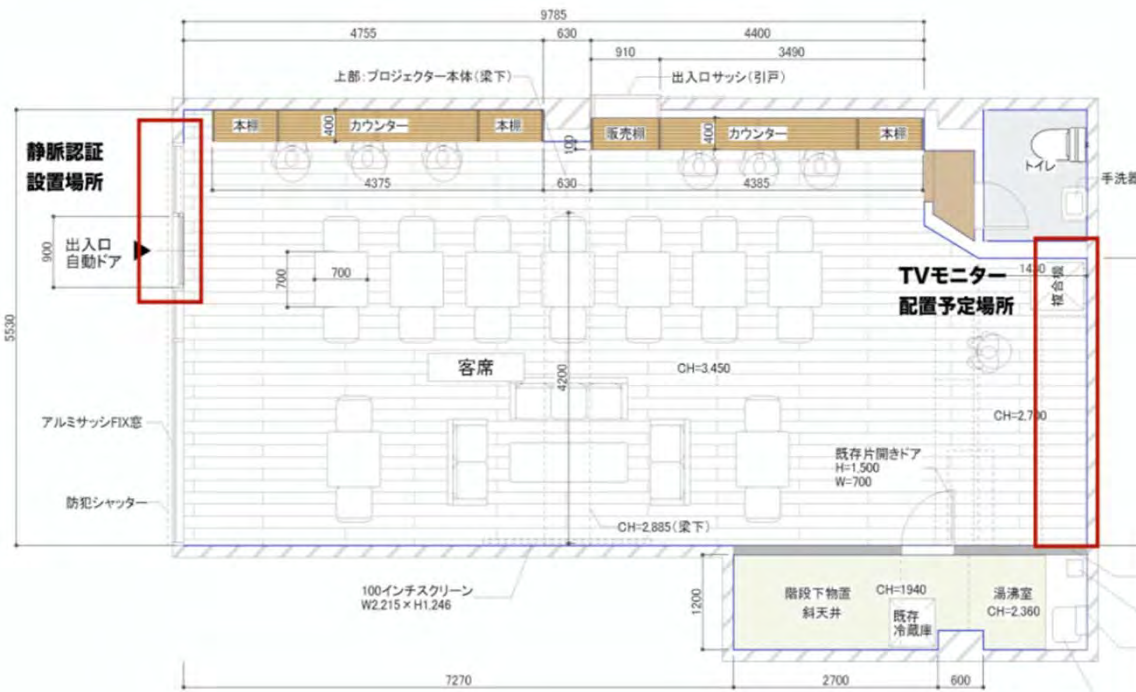
●テレワークセンターしおじり



## ■整備完了後の取組内容の概要

名称	拠点の運営計画	都市部からの移動人数			地元自営型テレワーカー利用人数		
		30年3月	31年3月	32年3月	30年3月	31年3月	32年3月
Knower(s)	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市部企業から受注した業務を、拠点が地元事業者に発注し、地域におけるテレワーク可能業務の仕事量を毎年増加させる。これにより、拠点を利用する地元の自営型テレワーカー数が増大し、利用料収入増に寄与する。</li> <li>地域におけるテレワーク従事者増加により、拠点利用人数も増加し、都市部企業から安定的な業務供給量を確保することが可能となる。</li> </ul>	5人	5人	5人	10人	15人	20人
Colabo		7人	8人	9人	8人	12人	15人
テレワークセンターしおじり		3人	4人	5人	40人	45人	50人

# (参考①) 整備した拠点について (Knower(s))



Concept  
About  
Knower(s)

Know = 知る、  
理解する  
-er = 一人  
(s) = 集まる

外観



内観



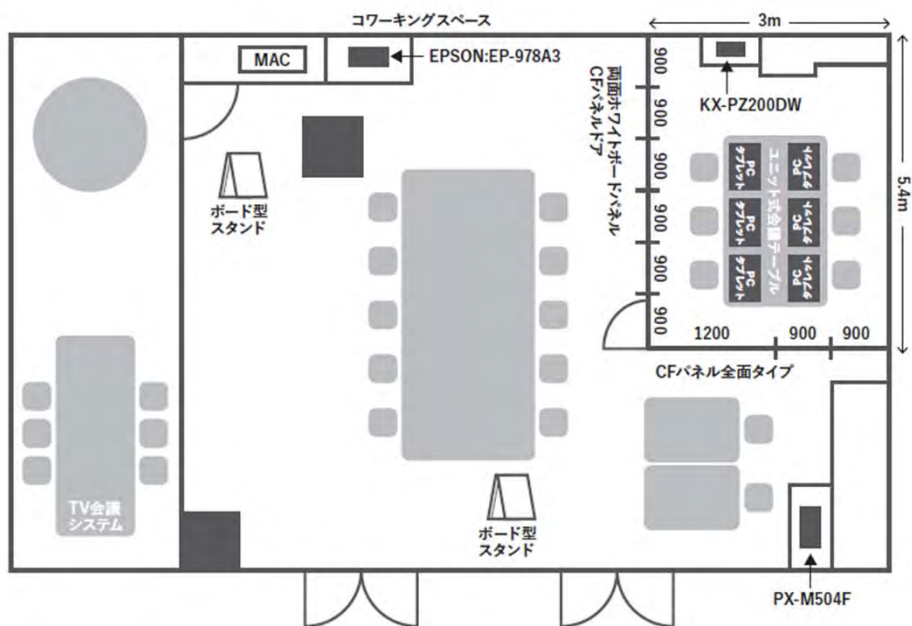
あらゆる分野のクリエイターがそれぞれの専門知識や経験を共有しながら、新たなビジネスやアイデアを実現するためのSocial Hub Space

人と人、個人と企業、アイデアと知識などを結び付けて、新しいビジネスやモノ作り、ワークスタイルを実現するためのスタートアップコミュニティとして、長野県のイノベーションのプラットフォームを目指す。

- ・資金も人脈も技術もないが実現したいアイデアはある
- ・経験を活かして新たな分野とつながりたい
- ・会社に属しているが新たな自分を見つけない
- ・気軽に仕事や成果をシェアしたい

起業家やクリエイターとのコラボレーションにより、挑戦する人にとって刺激的なビジネス環境を実現する。

# (参考①) 整備した拠点について (Colabo)



## コンセプト

### コラボレーションすることができる場

### colabo.link

場から生み出される関係性がアイデアを具現化する力となります。

colabo.linkは、アイデアを具現化するための場として、個人、企業、コミュニティ、どのような人でも活用いただけます。

## 活用方法

スタートアップ、フリーランサーの拠点・第二のワークスペース・経験と知恵を活かしアイデアを実現する関係性を創る場・イベント開催スペース 一人ひとりの自由な視点で、様々な利用ニーズで活用をしていただければと思います。

## 地域に貢献する事業を創る

colabo.linkの今後は、ネット販売(EC、eコマース)の知恵や道具が豊富な場へ成長していきます。ITツール、デジタルマーケティング、撮影・ライティング、データ活用、物流など、様々な知見が集まり、気軽に販売したい方をはじめ、データ活用によるマーケティングまでをサポートしていく拠点となるべく、現在、ECコミュニティメンバーが中心となり、今後活動をはじめていきます。

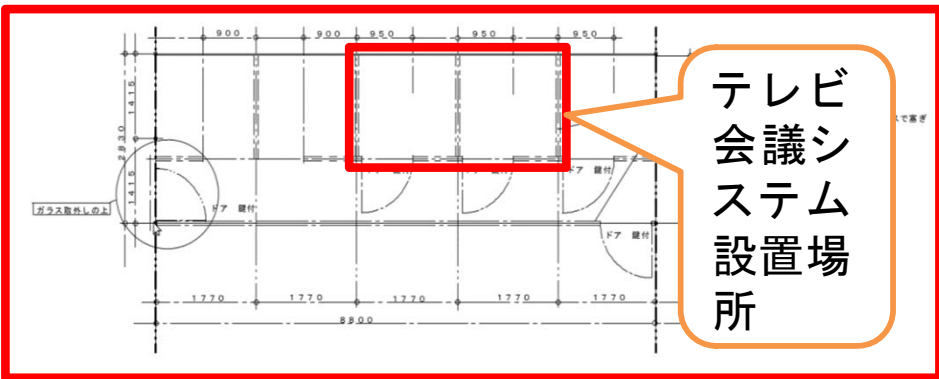
## 外観



## 内観



# (参考①) 整備した拠点について (テレワークセンターしおじり)



室内



## 施設の特Ⓐ性・機能

PC等のICT設備やワークスペース等を有する雇用支援施設(KADO)を、パーティションで区画し、複数企業が同時就業可能な環境を整備しています。

## 対象面積・規模

対象面積は、およそ279.65㎡あり、オフィスの規模としては各入居企業の専用スペース2部屋(うち1室に本事業においてテレビ会議システムを設置)及びコワーキングスペース2部屋が設けられています。入口の施錠、及びパーティションにより区画されているためセキュリティも担保されています。また、ICTの環境設備として、塩尻情報プラザのネットワークに接続しています。

## 利用人数・ランニングコスト

利用可能人数は、1部屋あたり2名までとなっています。なお、当施設はウイングロードビル3階の(一財)塩尻市振興公社スペースの一部となるため、毎月の光熱水費、賃料等のランニングコストは、現在発生いたしておりません(今後変更の可能性あり)。

外観



入口



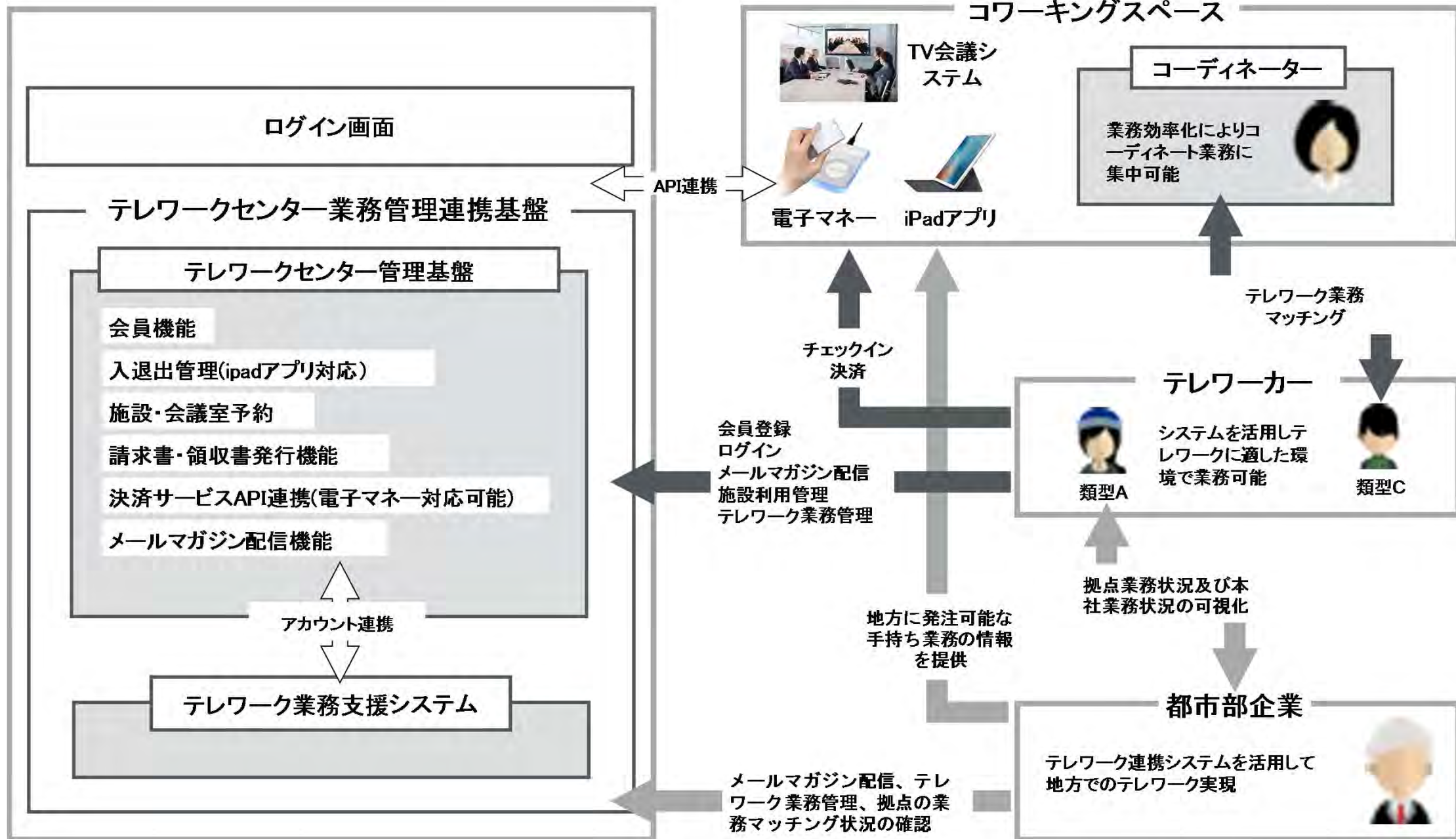
通路



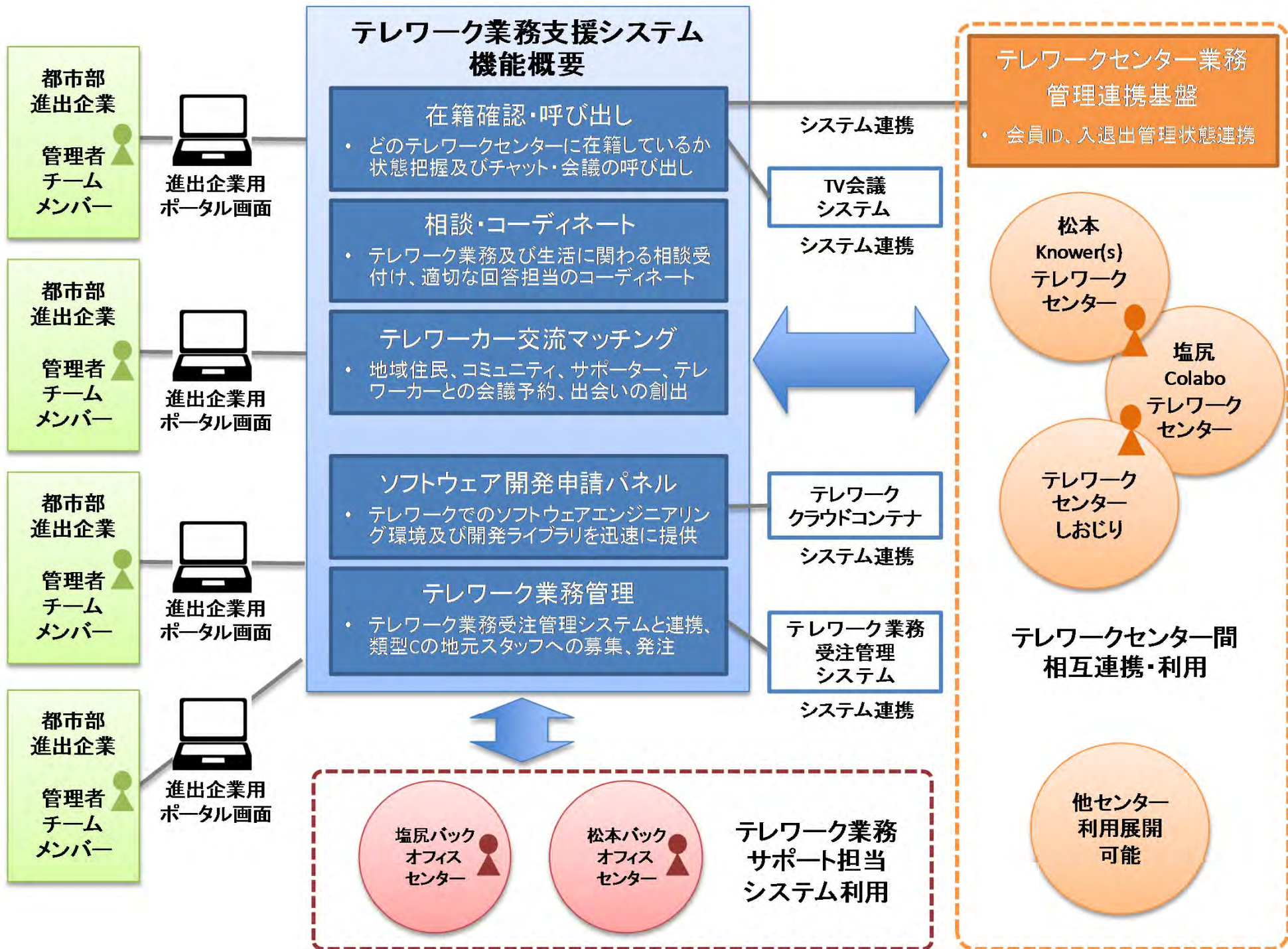
通路



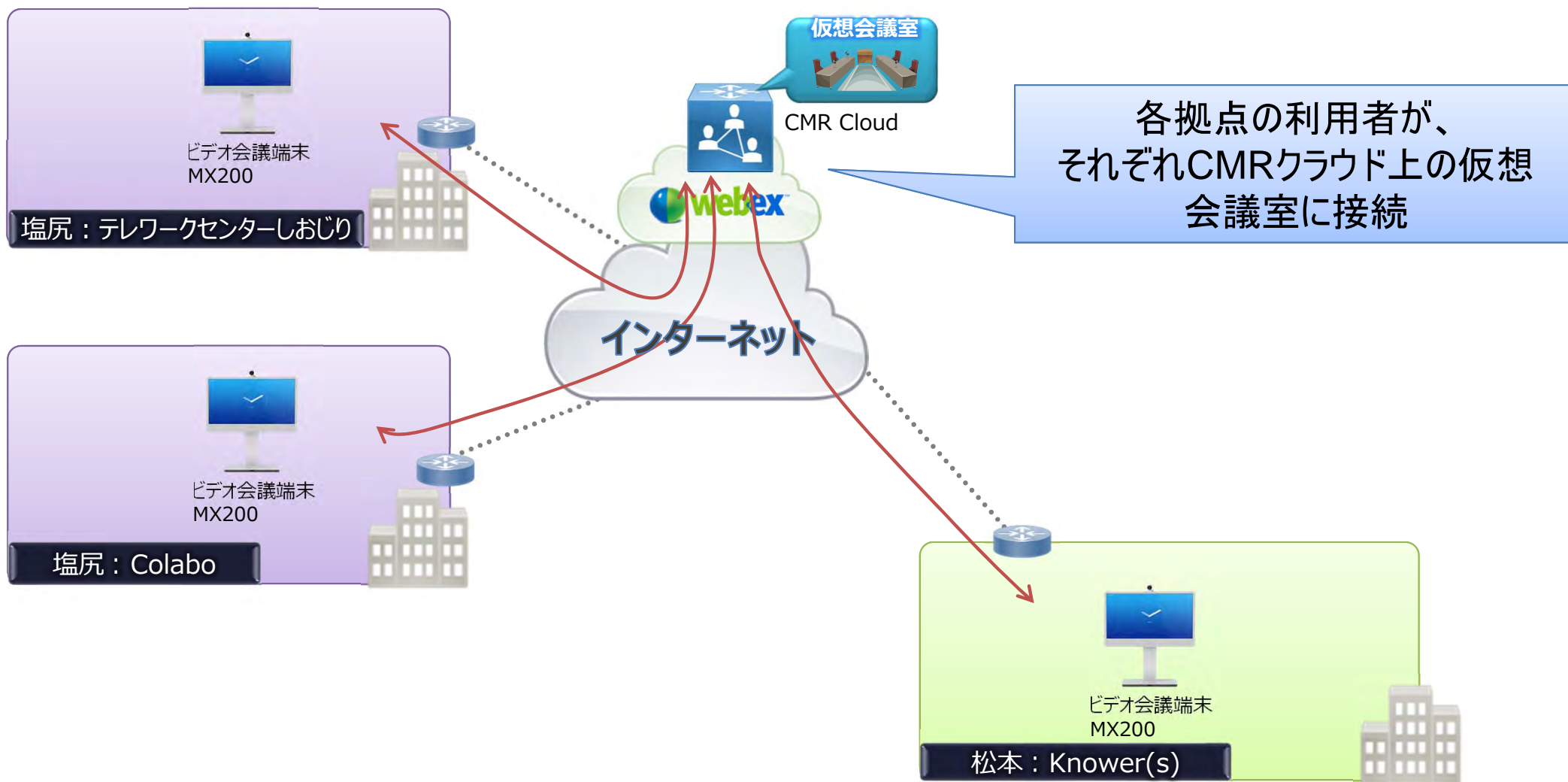
# (参考①) 整備した拠点について (テレワークセンター業務管理連携基盤)



# (参考①) 整備した拠点について (テレワーク業務支援システム)



# (参考①) 整備した拠点について (テレビ会議システム)





## (参考②) 整備完了後の取組内容について

### ■平成29年3月以降の拠点運営計画

名称	テレワークの実施状況	テレワーカーの状況
Knower(s)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 類型Aのテレワーカーがシステム開発、EC運用代行、顧客サポート、商品企画業務、人事業務、経理業務等を行う見込みである。</li><li>・ 類型CのテレワーカーがWeb制作、システム開発等を行う見込みである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 類型Aのテレワーカーが当初5名程度システム開発、EC運用代行、顧客サポート、商品企画業務、人事業務、経理業務等を行う見込みである。</li><li>・ 類型Cのテレワーカーが当初5名程度、Webサイトのコーディングやシステム開発案件を受注し、業務を行う見込みである。</li></ul>
Colabo	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 類型Aのテレワーカーがシステム開発等を行う見込みである。</li><li>・ 類型CのテレワーカーがWeb制作、システム開発、経理業務、旅費審査業務等を行う見込みである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 類型Aのテレワーカーが当初6名程度システム開発等を行う見込みである。</li><li>・ 類型Cのテレワーカーが当初5名程度Webサイトのコーディングやシステム開発、経理業務、旅費審査業務を受注し、業務を行う見込みである。</li></ul>
テレワークセンターしおじり	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 類型Aのテレワーカーがシステム開発等を行う見込みである。</li><li>・ 類型CのテレワーカーがWeb制作、システム開発、経理業務、旅費審査業務等を行う見込みである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 類型Aのテレワーカーが当初2名程度システム開発等を行う見込みである。</li><li>・ 類型Cのテレワーカーが当初35名程度Webサイトのコーディングやシステム開発、経理業務、旅費審査業務受注し、業務を行う見込みである。</li></ul>

## (参考②) 整備完了後の取組内容について

### ■都市部からの移動人数や地元の自営型テレワーカー利用者数の年度ごとの目標人数

名称	都市部からの移動人数			地元の自営型テレワーカー利用人数			目標達成に向けた拠点における業務計画	
	30年	31年	32年	30年	31年	32年	類型Aの業務	類型Cの業務
Knower(s)	5人	5人	5人	10人	15人	20人	都市部進出企業との連携を強化し平成29年3月当初の移動人数を維持できるようにする。	当初は5人受注できる程度の業務量を見込むが、業務の供給量を毎年増加させ、3年後には20人程度の自営者への業務提供を見込む。
Collabo	7人	8人	9人	8人	12人	15人	都市部進出企業との連携を強化し平成29年3月当初の移動人数から増加を見込む。	当初は5人受注できる程度の業務量を見込むが、業務の供給量を毎年増加させ、3年後には15人程度の自営者への業務提供を見込む。
テレワークセンターしおじり	3人	4人	5人	40人	45人	50人	1年程度、当初の移動人数を維持した後、都市部進出企業との連携を強化し平成29年3月当初の移動人数からの増加を見込む。	当初は35人受注できる程度の業務量を見込むが、発注企業の開拓を推進するとともに、テレワーカーも育成することにより、3年後には50人程度の自営者への業務提供を見込む。

# (参考②) 整備完了後の取組内容について

■交流・連携が生み出す新たな製品・サービス創出の具体的取組内容

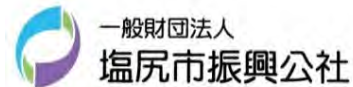
**塩尻市振興公社とネットワンシステムズ、  
総務省が推進する「ふるさとテレワーク」に沿った共同の取り組みを開始**

**ネットワンシステムズが一部業務を委託し、塩尻市の育児女性の就労機会を増加**

～ICTを活用することで都市部の仕事を地方でも可能に

**塩尻市のダイバーシティ推進とネットワンシステムズ社員のコア業務へのシフトを実現～**

ワークスタイル変革を推進  
(ビジョン:いつでも、どこでも、  
どんな端末でも働ける)



テレワークを活用したダイバー  
シティ(多様な働き方)を推進

課題:社員のコア業務へのシフトとコスト削減

課題:子育て中等何らかの理由で働けない人に対し、  
安心して働ける環境をテレワークで提供すること

経費精算業務及び与信登録業務

業務委託(請負)

業務一括受注・業務の分配・業務マネジメント

業務の分割発注・進捗管理

使用したICTツール:業務のセキュリティを高める仮想デスクトップ  
環境及びビデオ会議システム等のコミュニケーションツール

テレワーク拠点:テレワークセンターしおじり(ビルの同フロアに託  
児施設とこども広場があり、育児中の方の業務場所として最適)

登録ワーカー  
(個人事業主)

今後、両社は「ふるさとテレワーク」の取組をさらに推進し、ネットワ  
ンシステムズからの委託業務範囲の拡大、および、塩尻市振興公  
社による業務発注者数増加を検討。

新しい形態での就労機会の創出  
ふるさとテレワーク<類型C>  
3名のテレワークが実現